



Bank of Japan Nagasaki Branch

長崎県の金融経済概況 (2023年2月公表分)

【概況】

長崎県の景気は、一部に物価上昇の影響がみられるものの、全体として持ち直している。

最終需要面をみると、個人消費は持ち直している。観光は、このところ回復ペースが速まっている。住宅投資は横ばい圏内で推移している。公共投資は弱めの動きとなっている。設備投資は、大型案件が寄与して大幅に増加している。

生産は、電子部品・デバイスの好調を主因に、増加している。雇用・所得環境をみると、雇用者所得は依然として弱い動きとなっているものの、労働需給の引き締まりが進む中、賃金改善の動きが徐々に広がっている。消費者物価指数の前年比は、3%台後半となった。

先行きについては、物価上昇、海外経済の減速、感染症の動向などの影響を注視していく必要がある。

【本件に関する問い合わせ先】

日本銀行長崎支店総務課

850-8645 長崎市炉粕町32番地

TEL：095-820-6110 FAX：095-820-0299

本資料は当店ホームページ(<http://www3.boj.or.jp/nagasaki/>)にも掲載しています。



1. 需要項目別動向

個人消費は、持ち直している。財消費は、一部に物価上昇の影響がみられるものの、全体として堅調に推移している。サービス消費は、持ち直しの動きが続いている。

12月の商業動態統計は、前年を上回った。1月の乗用車新車登録台数は、前年を上回った。

観光は、このところ回復ペースが速まっている。

12月の主要ホテル・旅館宿泊者数は、前年を上回った。主要観光施設入場者数は、前年を下回った。

住宅投資は、横ばい圏内で推移している。

12月の新設住宅着工戸数は、前年を上回った。

公共投資は、弱めの動きとなっている。

1月の公共工事請負金額は、前年を上回った。

設備投資は、大型案件が寄与して大幅に増加している。

2022年度の設備投資（2022年12月短観）は、前年度を上回る計画となっている。

12月の建築物着工床面積は、前年を下回った。

2. 生産

生産は、電子部品・デバイスの好調を主因に、増加している。

主要業種別にみると、電子部品・デバイスは、増加が続いており、高水準で推移している。機械・重電（原動機、大・中型モーター、冷熱機器）は、減少が続いている。造船は、緩やかに増加している。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、雇用者所得は依然として弱い動きとなっているものの、労働需給の引き締まりが進む中、賃金改善の動きが徐々に広がっている。

12月の有効求人倍率は、1.22倍となった。11月の雇用者所得は、前年を上回った。

4. 物価

12月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、長崎市）の前年比は、3%台後半となった。

5. 金融

12月の総預金および貸出金は、いずれも前年を上回った。

6. 企業倒産

1月の県内企業倒産（負債総額10百万円以上）は、件数、負債総額ともに前年を下回った。

〈 景気判断の比較 〉

	前回（2023年1月公表分）	今回（2023年2月公表分）
景気全体 （表現変更）	一部に物価上昇の影響がみられるものの、全体として持ち直している。最近の感染拡大の影響は限定的なものに止まっている。	<u>一部に物価上昇の影響がみられるものの、全体として持ち直している。</u>
個人消費 （据え置き）	持ち直している。	持ち直している。
観光 （引き上げ） （4か月ぶり）	回復している。	<u>このところ回復ペースが速まっている。</u>
住宅投資 （据え置き）	横ばい圏内で推移している。	横ばい圏内で推移している。
公共投資 （据え置き）	弱めの動きとなっている。	弱めの動きとなっている。
設備投資 （据え置き）	大型案件が寄与して大幅に増加している。	大型案件が寄与して大幅に増加している。
生産 （据え置き）	電子部品・デバイスの好調を主因に、増加している。	電子部品・デバイスの好調を主因に、増加している。
雇用・所得 （引き上げ） （14か月ぶり）	労働需給は改善の動きが続いている一方、雇用者所得は依然として弱い動きとなっている。	<u>雇用者所得は依然として弱い動きとなっているものの、労働需給の引き締まりが進む中、賃金改善の動きが徐々に広がっている。</u>

（注）下線は、前回からの変更・追加。